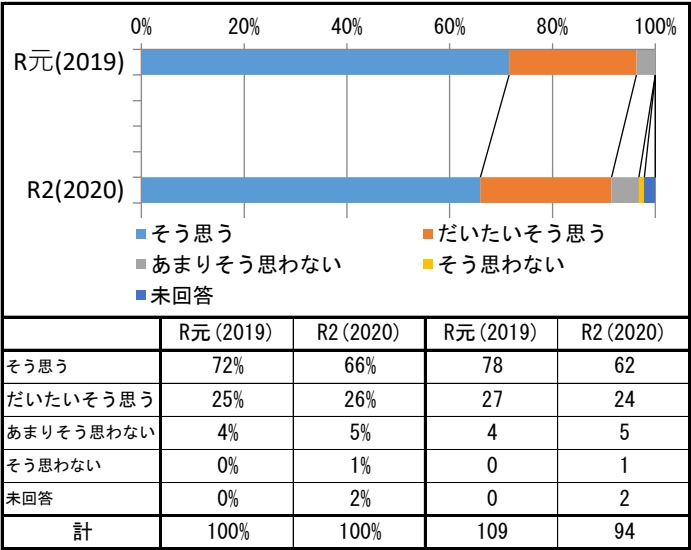
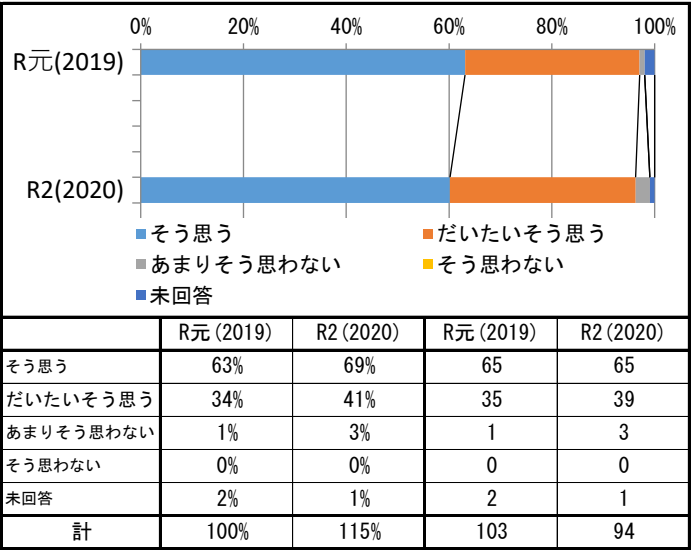


令和2年度 学校教育自己診断分析 保護者

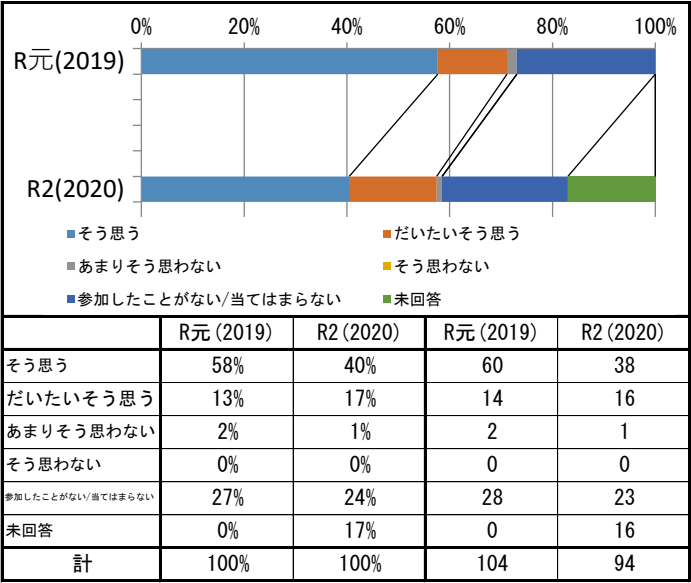
保 1 子どもは学校に行くのが楽しいと言っている  
もしくは様子などからそう思う



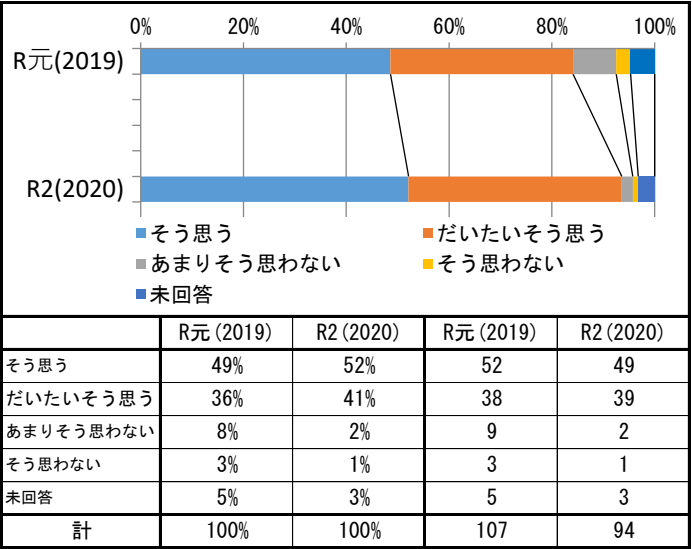
保 2 子どもは授業が分かりやすいと言っている  
もしくは様子などからそう思う



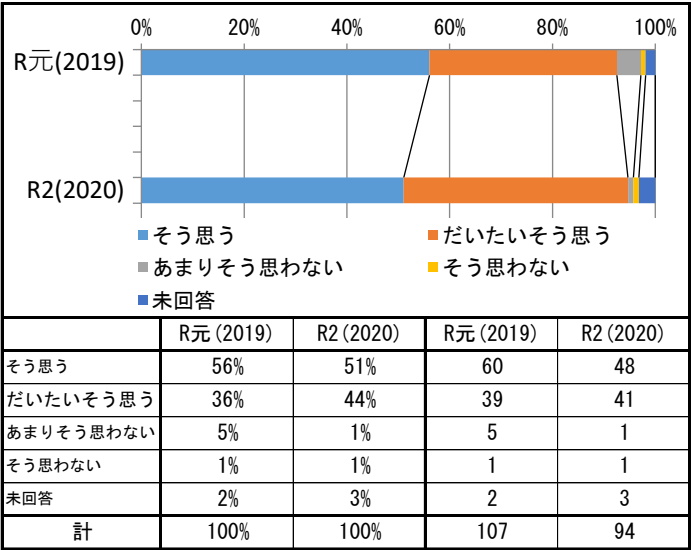
保 3 行事等は参加しやすいように配慮されている



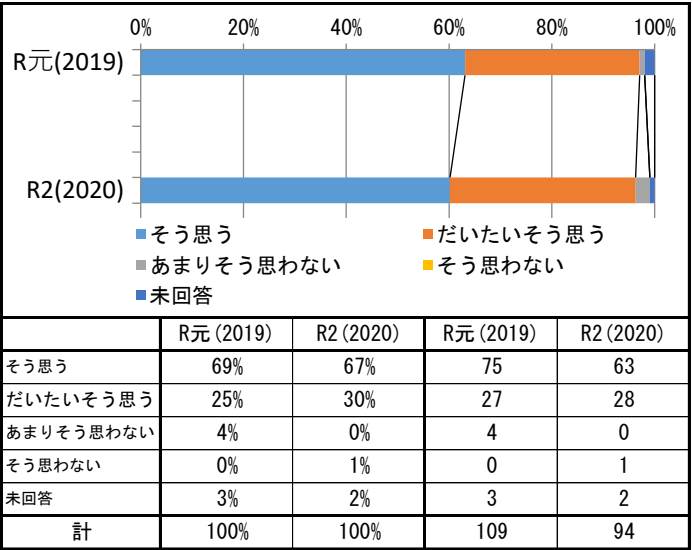
保 4 学校は子どもの発達段階に応じ、進路指導（将来の夢や職業、進路、生きる力）を行っている



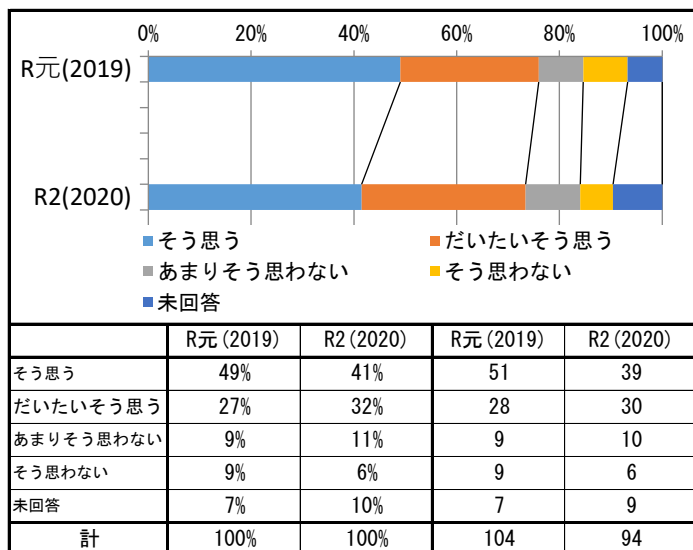
保 5 学校は命を大切にする心や、社会のルールを守る態度を育てようとしている



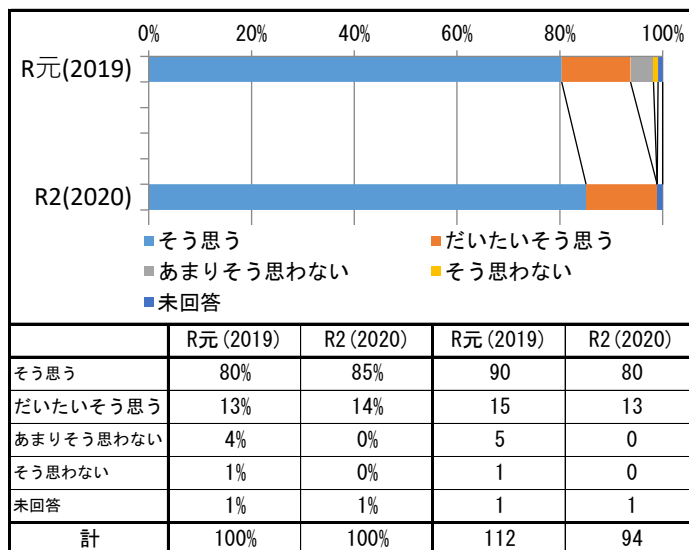
保 6 学校は子どもの人権やプライバシーに配慮した指導を行っている



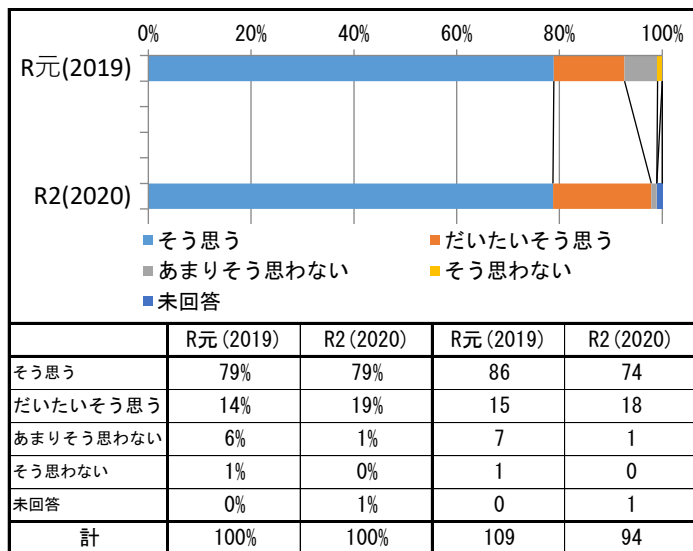
保 7 学校から地震や火災などの防災教育や安全教育を受け、入級時に災害時における学校の対応について説明を受けた



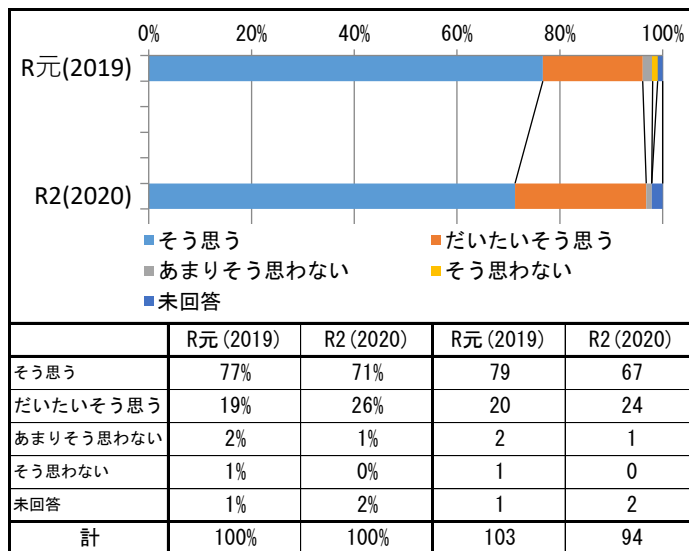
保 8 学校は地域校と連絡や転校時の引き継ぎを行っている



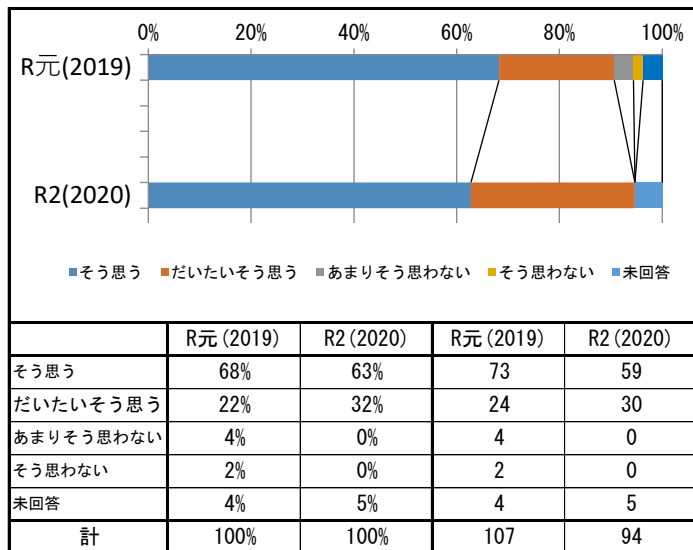
保 9 学校は保護者と連絡や情報提供を行っている



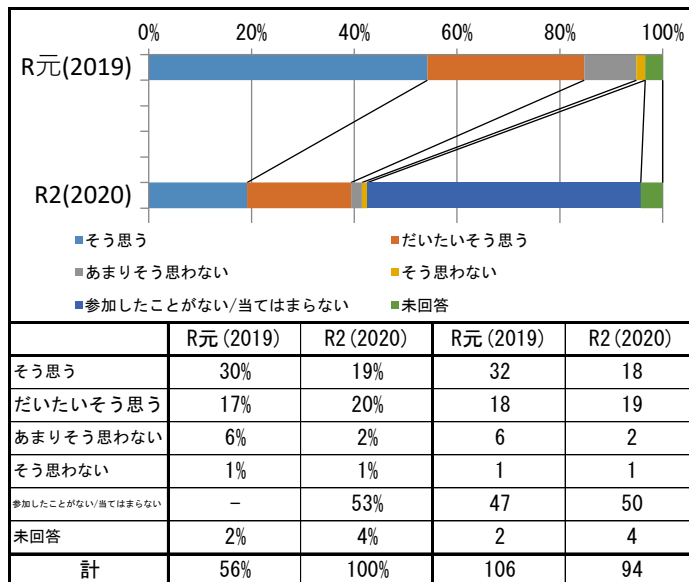
保10 教員は子どもの病気や心身の状態についてよく理解している



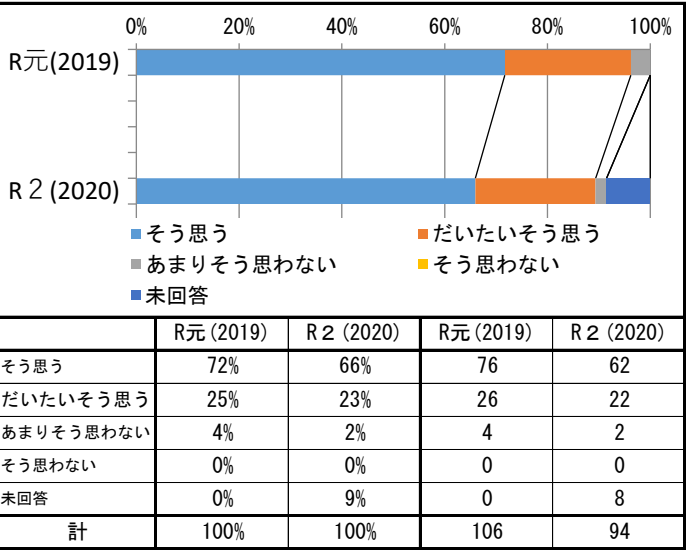
保11 教員は個別的教育支援計画を本人・保護者のニーズを踏まえて作成している



保12 P T A 行事は参加しやすいように工夫されている



保13 学校は病弱の支援学校としての専門性がある



保14 教員は羽曳野支援学校で起こったいじめについて、子どもが困ったら真剣に対応してくれると思う

